「豊かな自然と共存し、みんなで創り育てる 多様性と持続性のまち」の実現に向けて――

※今回掲載した令和３年度串間市施政方針は抜粋です。
全文は、市の公式サイトでご覧になれます。

# 令和３年度 施政方針（抜粋）

**１年間の主要な事業や予算についての方向性を示す施政方針。今年度の施政方針をお知らせします。**

## はじめに

はじめに、菅内閣は我が国経済について、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）の影響により経済活動の制約を余儀なくされ、経済水準がコロナ前を下回るなど、厳しい状況が続いており、感染症が経済を下振れさせるリスクや金融資本市場の変動などの影響を注視する必要があるとしております。

このような中、菅総理は、施政方針演説や「経済財政運営と改革の基本方針２０２０」及びそれを具体化する成長戦略の実行計画に基づき、デジタル社会の実現、グリーン社会の実現、地方の所得向上による地方活性化、切れ目のない子育て支援、全世代が安心できる社会保障制度の構築、地域共生社会の実現、国土強靭化などを目指すとしております。

このような我が国を取り巻く環境や国の動向を注視するとともに、国・県と連携しながら本市に有利な制度事業などを積極的に活用し、本市の振興を図ってまいります。また、令和３年度は、第六次串間市長期総合計画（以下「長期総合計画」という）の初年度であることから、今後10年間のまちづくりの基本的方向性を示すとともに、ウィズ・ポストコロナを見据えた第一歩を切り拓いてまいります。

## 新たな決意

私は、平成29年10月に第18代市長に就任して以来、「団結」「継続」「変革」の信念と「真の地方創生」「暮らしと心の豊かさ」「くしま人財の育成」を市政運営の柱としてさまざまな施策に取り組んでまいりました。

その間、市街地再整備、都井岬再開発、串間温泉いこいの里の再生など、長年の懸案事項は解決への道筋を付け、順調に前進しております。また、私のカラーである再生可能エネルギーを軸としたまちづくりについても、県内初となるゼロカーボンシティ宣言やＳＤＧｓなどの取り組みを実施しており、本市のイメージを刷新できたのではないかと考えております。

しかし一方で、感染症の脅威にさらされ、多くの市民が不安を募らせたことと感じております。私は、このことから、「市民の生命財産を守る災害に強い安全安心なまちづくり」「持続可能な脱炭素社会を目指す環境未来都市づくり」「健康寿命の延伸を図り、健康で自分らしい豊かな暮らしが送れる健康都市づくり」の重要性を再認識したところであります。

私は、今後も市民の皆さまとの対話を重視し、新たな長期総合計画の基本理念である「豊かな自然と共存し、みんなで創り育てる多様性と持続性のまち」の実現に向けて、より一層邁進していく覚悟であります。

## 新たな日常に向けた取組の推進

感染症の影響により見えてきた「デジタル化の遅れ」「地方経済の偏りや脆弱性」などの課題が浮き彫りになってきており、自治体デジタル化の推進やＳＤＧｓの理念による施策の推進は、その必要性がますます高くなってきております。

デジタル化については、国においても「新たな日常」の原動力となるべく「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、「一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を示しています。本市においても、デジタル化やＥＢＰＭ（証拠に基づく政策立案）により、業務の改善を図ることで行政サービスの質を向上させ、市民の生活をより良く変革する取り組みを推進してまいります。

また、感染症対策の切り札と位置付ける新型コロナウイルスワクチン接種に全力を挙げるとともに、感染予防や感染症の影響を最小限に抑える経済対策などについて、今後の感染状況に応じて迅速かつ的確に対応していくため、国・県や関係団体と緊密に連携してまいります。

ＳＤＧｓについては、長期総合計画において、全ての施策とひも付けることにより、その理念と目標の達成のため、全庁を挙げて取り組むこととしたしました。この取り組みを通じて経済面・社会面・環境面の３側面の好循環を生み出す取り組みを推進するとともに、市民も巻き込んだ市全体の取り組みへ広げることにより本市の独自性と持続可能なまちを目指してまいります。

## 計画の継続性

東九州自動車道は、本市区域内の「奈留～県境間」をはじめとする事業化区間において、現地測量や設計などの作業が着実に進められており、本市としても積極的な協力が図られるよう体制づくりを進めてまいります。また、未事業化区間「南郷～奈留間」について、引き続き関係市と連携し、感染症拡大防止に対応しつつ官民一体となって要望活動を積極的に推進し、早期事業化に向けて継続して取り組んでまいります。

また、東九州自動車道の開通を見据えた中心市街地活性化策として事業を進めております道の駅くしまについても、令和３年４月中に開業し、都井岬、串間温泉いこいの里、高松キャンプ公園などの観光施設と連携した周遊ルート形成による交流人口の増加が期待されます。各施設が有するそれぞれの魅力を体験していただくとともに、情報発信にも努めてまいります。

また、中心市街地における市民交流の拠点となる道の駅くしま市民交流施設の整備を含むまちづくり第二期計画を、引き続き国と連携しながら進めてまいります。

## おわりに

進行する人口減少・少子高齢化、厳しい経済・財政状況に加え、国難ともいうべきコロナ禍と、本市を取り巻く環境は一段と厳しい状況であり、大きな社会情勢の変革に直面する時代であります。

その中で、令和３年度からの長期総合計画に基づき、あらゆる地域資源や経営資源、アイディアや施策を結集した「串間の元気総力戦」により、未来に向けて持続可能なまちとしての礎を築く覚悟で邁進してまいります。